

平成27年度第1回評議員会・第2回理事会開催

5月23日(土) 10:00~12:00に、県社会福祉センター2F 身障第1研修室において、第1回評議員会を11名の出席と6通の委任状により開催しました。

欠員のあった評議員の補填と、所轄を福井市長から県知事に戻す定款変更、および事業報告・会計決算報告ならびに事業計画と会計予算案の審議を行いました。

事前資料に追加し、日常生活用具の補助に人工内耳体外部買い替えも対象とする要望書の、福井市への提出を報告しました。

また、平成30年度に開催される第18回全国障害者スポーツ大会「しあわせ元気大会」に向けた、県国体推進局の「情報支援ボランティア養成事業」および県障害福祉課の「手話通訳技術向上推進事業」料委託事業について審議しました。

新評議員には笹原未来氏の推薦が承認され、理事会に諮ることとなりました。

引き続き、13:00~15:00より同会場において、第2回理事会を出席および書面出席の10名で開催し、新評議員の承認に続き、午前の評議員会と同じ内容で審議しました。

「地方の手話」福井の手話方言

全国聴覚障害者情報提供施設協議会(以下、全聴情協)より、CS 障害者放送統一機構からの要請に応える映像制作協力の依頼があり、「地方の手話」を作成しました。

第2・第4火曜日放映用に5分間×2本の依頼があり、内容は地元で使われている手話の紹介で、標準手話と福井の方言を交互に撮影し18単語分21表現を編集しました。

CS放送「目で聴くテレビ」で6月9日(火) 20:00~21:00と、12日(金) 18:30~19:30に再放送の1本および、23日(火) 20:00~21:00と、26日(金) 18:30~19:30に再放送の1本があり、当センターの字幕入りビデオとしてDVD1枚にまとめて貸出しを始めました。画質は劣りますが、当センターのホームページでもご覧いただけます。

研修



全聴情協では、この他 CS 障害者放送統一機構の番組制作協力として、「それいけ! くいしんぼ」「でんしゃ見聞録」「つつらうら」(各10分間)の制作もあります。

これらの番組は、全国の情提が持ち回りで制作していますが、当センターも3年目となりますので、制作を担うことになりそうです。

平成 27 年度手話・要約筆記講座開講

県および市町からの委託事業としての講座が順次始まっています。

No.	講座名	会場	曜日	時間	回数	期間	人数
1	手話奉仕員養成新課程	県社会福祉センター	水	10:00～12:00	46	H27.5.13～H28.3.23	20
2	〃	県立大学	木	10:40～12:10	36	H27.4.9～H28.3.	28
3	〃	敦賀看護大学	水	16:50～18:10 15:10～16:40	36	H27.5.13～ H28.1.27	30
4	手話奉仕員レベルアップ講座	県社会福祉センター	月	19:00～21:00	15	H27.7.13～11.9	
5	〃	県社会福祉センター	木	14:00～16:00	15	H27.7.16～11.5	
6	〃	敦賀市男女共同参画センター	火	19:00～21:00	15	H27.10.6～ H28.2.16	
7	手話通訳者I	県社会福祉センター	土	13:00～15:00 13:00～17:00	36	H27.5.9～ H28.3.5	21
8	手話通訳者応用課程	敦賀市あいあいプラザ	月	19:00～21:00	23	H27.5.18～11.9	9
9	手話通訳者実践課程	越前町朝日生涯学習センター	月	19:00～21:00	19	H27.5.11～H28.3.	7
10	手話通訳者ステップアップ講座	県社会福祉センター	土 日	13:00～15:00 10:00～15:00	19	H27.7.18～11.29	
11	〃	丹南地域	土 日	13:00～15:00 10:00～15:00	19	H27.7.18～11.29	
12	要約筆記者養成講座	県社会福祉センター	木	19:00～21:00	42	H27.4.23～H28.2.18	12
13	〃	県社会福祉センター	土	13:00～16:00	28	H27.5.30～12.19	11
14	要約筆記者移行研修講座	県社会福祉センター	土 日	10:00～17:00	24	H27.12. ～H28.2.	
15	敦賀市手話奉仕員養成新課程	敦賀井あいあいプラザ	火	19:00～21:00	46	H27.5.19～H28.3.15	19
16	坂井市手話奉仕員入門課程	東十郷コミュニティーセンター	水	19:00～21:00	21	H27.5.27～10.21	17
17	〃	東十郷コミュニティーセンター	水	10:00～12:00	21	H27.9.2～H28.2.10	
18	大野・勝山市手話奉仕員養成入門課程	大野市青少年教育センター 大野市結とびあ	木	19:00～21:00	21	H27.6.4～10.29	11
19	大野・勝山市手話奉仕員レベルアップ講座	大野市結とびあ	水	19:00～21:00	15	H27.6.24～11.25	19
20	あわら市手話奉仕員養成講座	あわら市中央公民館	木	9:30～11:30	24	H27.6.18～12.3	19
21	越前町手話奉仕員養成講座	越前町朝日生涯学習センター	火	19:00～21:00	28	H27.6.9～12.22	20
22	大野市要約筆記者養成講座	結とびあ	日	13:00～17:00	28	H27.5.17～12.20	5

新県民歌手話バージョンとイラスト完成



従来の県民歌が、坂井市出身の世界的指揮者である小松長生氏の作曲で、より親しみやすく歌いやすい曲調へと変わりました。

今回、新県民歌の「手話バージョン」を福井県ろうあ協会の協力を得て、県障害福祉課設置手話通訳者の手塚治子さんの手話表現がDVD化されました。

一人でも多くの人に、手話による「新県民歌」が普及することを願って、当聴覚障がい者センターで「手話バージョン」のイラストを作成しました。

県のホームページに手話の動画とイラストが掲載され次第、当法人のホームページにも掲載しますので、ご期待ください。



2015 年度全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会 第 11 回全国聴覚障害者情報提供施設大会が開催

6月3日(水)13:00から山口市湯田温泉において標記の会議が開催され、福井からは施設長が出席しました。

全国聴覚障害者情報提供施設協議会(以下、全聴情協)総会には、正会員全49施設が出席し、新施設と施設長交代7施設の紹介があり石野富志三郎理事長より新たに3施設(宮城県・愛知県・京都府)が新設し、全国の情報提供施設が50施設(島根県に2施設)を超えたこと挨拶がありました。

第11回(通算第23回)全聴情協大会が開催され、厚生労働省社会援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室長の道躰正成氏、県保健福祉部長、渡辺山口市長、全日ろう連久松三二氏の来賓挨拶がありました。

続いて、「地域生活支援事業における意思疎通支援の今後」と題し、全国難聴者中途失聴者団体連合会理事長の新谷友良氏と、全日本ろうあ連盟事務局長の久松三二氏の基調報告に続き、厚生労働省の道躰正成氏と新谷友良氏と久松三二氏によるシンポジウムが、近藤幸一氏の司会で開催されました。

2日目はブロック会議で、北海道・東北・北陸・甲信の第1ブロックに参加し、平成27年4月1日に設立した山形県と28年度設立予定の北海道からオブザーバー参加がありました。

午後は第1ブロック研修会で「難聴者への相談支援について」と題し、聴覚障害者情報文化センター施設長の森せい子氏より、具体的事例を挙げ講演をいただきました。来年は大阪で開催されます。



手話奉仕員養成担当講師連続講座が福井で開催



全国手話研修センターの主催による、手話奉仕員養成の講師を養成する講座には、県の委託事業と敦賀市坂井市の委託として毎年受講者を派遣しており、昨年は埼玉県と福岡県に4名ずつ派遣しました。

今年度は、鹿児島県と福井県で開催され、福井会場は5月30日から12月20日まで8回16日間の開催です。

全国各地から34名が受講していますが、本来、各都道府県2名の受講の原則を大幅に超え、福井県からは内16名が受講しています。

講義を受けモデル講座の授業を見学した後、受講者自らが模擬授業を行うことを繰り返す内容ですが、地元福井として生徒役のモニター生を募集したところ42名ものご応募をいただきました。厳選の上22名にモデル授業および模擬授業を受けていただいています。

受講者全員が無事修了され、一人でも多くの方が優秀な手話奉仕員養成の講師として、各地域で活躍いただけるよう、講座のよりスムーズな運営のため精一杯支援いたします。

情報支援ボランティア養成事業を受託しました



平成 30 年の国体と全国障害者スポーツ大会が福井県で開催されますが、情報支援ボランティア養成事業の委託を、県国体推進局競技式典課全国障害者スポーツ大会グループより打診され、当法人の評議員会・理事会に諮った結果、受託することになりました。

平成 27 年度は、連絡会議を 3 回、カリキュラム・テキスト検討（手話・要約筆記手書き・要約筆記パソコン）各 3 回、手話通訳・要約筆記経験者の実態把握・参加意向調査、紀の国わかやま大会視察団派遣、わかやま大会の

情報支援ボランティア指導者・リーダーを講師に研修会開催、の各事業実施が契約に盛り込まれています。

当法人の構成団体の内、県ろうあ協会、県中途失聴・難聴者協会、県手話通訳問題研究会、全国要約筆記問題研究会支部、県手話サークル連絡協議会より委員を選出いただき、6 月 28 日（日）には第 1 回連絡会議を県社会福祉センターで開催しました。

全国障害者スポーツ大会の概要を、長崎大会時の情報保障の状況を写真や数字を挙げて説明を受け、熱心な質問が出され具体的な回答があり、大会のイメージを把握することができました。

続いて、今後の活動について協議し、次回の養成連絡会議日程、わかやま大会への視察派遣者の確定および、カリキュラム・テキスト作成部会の構成と、実態調査・参加意向調査に向けた名簿作成の必要性と構成団体への協力依頼、紀の国わかやま大会指導者・リーダー研修会の日程と参加呼びかけ等について話し合われました。

平成 30 年まで事業が継続しますが、事務所職員は 4 名に過ぎず、従来の仕事を抱えながら新たに事業が追加となりますので、皆様のご支援を是非ともよろしくお願い申し上げます。



職員研修派遣報告

当法人の竹原晴彦職員が、NPO 法人手話教師センターの 2015 年度ナチュラルアプローチ手話教授法講座を修了しました。

2 月 28 日の面接試験に合格したことを受け、4 月 15 日から 6 月 10 日まで、東京都障害者福祉会館を中心に埼玉の国立リハビリテーション学院や大阪へ 10 回派遣いたしました。

最終試験合格発表の 12 月を待たなければなりません、手話教授法講師の資格取得の朗報を待ちたいと思います。

早速、大野・勝山市の手話奉仕員養成レベルアップ講座においてその成果が発揮され、受講生からは体験したことのない指導法に、驚嘆の声が挙がっていました。

今後、県内のレベルアップ講座の効果が大幅に上がるものと、期待されます。

待望のスタジオ照明がようやく

公立民営や指定管理の情報提供施設なら、設立時に機材一式を揃えてスタートすることが出来たのですが、民立民営を選んだ福井では聴力測定室・聴力訓練室のスタジオへの改装も、事務所表の壁紙もドアの交換も全て法人が負担し、機材や公用車は基金からの寄付に頼ってきました。

この度、聴覚障がい者センター開所時からの念願だった、スタジオの照明2基をようやく配備できました。

デジタル映像の機能を使い、後処理で明るく加工してきましたが、コントラスト調整による陰影の修正にも限界があります。LED照明でほとんど熱を発生せず、省エネで電源ブレーカーが落ちる心配も少なく、折りたためば持ち運びも出来るタイプです。



また、ビデオ撮影用の三脚も安定し重量感のあるものを追加し、ビデオ撮影時に水平を保ちスムーズな画面移動が可能となりました。

さらに、デュプリケーターという機械を配備し、制作した字幕入りビデオおよび読み取り実技用手話表現や特別講義の教材 DVD・ブルーレイディスクを、一気に10枚コピーできるようになりました。

きこえとことばの相談会

と き：7月24日（金）9:00～16:00

7月27日（月）9:00～16:00

ところ：福井県立ろう学校（〒910-0014）福井市幾久町2-22

対象者：0歳から成人まで、きこえやことばに関して不安をお持ちの方および、その方の保護者・教員・保育士・保健師等

内 容：相談（聴力、ことばの遅れ、発音など）、聴力測定、補聴器調整など

申込先：福井県立ろう学校 教育支援部（担当：宮本・岩永）

TEL 0776-24-5190 FAX 0776-24-5207 E-mail=kyouikusoudan@fukui-sd.ed.jp

締切り：7月3日（金）

「極限の戦場 西部ニューギニア～第11回戦争を語る～」

語り手：中西 弘さん（小浜市92歳）

要約筆記サークル「ハンドリリーフ」の協力で要約筆記が付きます。

と き：7月26日（日）午後2:00～3:30

ところ：おおい町里山文化交流センターぱらっと 活動室

おおい町名田庄久坂3-21-1 TEL0770-67-3703 FAX0770-67-3355

主 催：おおい町立名田庄図書館

参加費：無料 申込み不要 戦争関連資料の展示もあります。

明石市で手話通訳公募

今年 4 月に実施された統一地方選挙で、ろう者が市議会議員選挙に当選した明石市は、障害者コミュニケーション条例も施行しており、手話通訳を 2 名程度募集しています。

手話通訳業務と障がい者施策の充実及び改善に関することが職務内容で、正規職員として任期 5 年（任期満了後、再度の採用試験に合格すれば、再度の任用が可能）で、主任級月額約 36 万円年収約 640 万円・係長級月額約 39 万円年収約 690 万円・課長級月額約 41 万円年収約 830 万円）となっています。

受験資格は、手話通訳士または手話通訳者で、行政分野、NPO 等において、障害者施策等に関する実務経験を有する人で、昭和 29 年 4 月 2 日以降生まれの人です。

募集期間は 7 月 1 日(水)～27 日(月)で、試験日は 8 月 8 日(土)または 9 日(日)です。

採用予定は平成 27 年 10 月 1 日(木)となっています。

施設長就任のご挨拶

当法人の設立およびセンターの開所時より施設長を務めてこられた眞家徹氏が 26 年度いっぱい退任されました。本当にお疲れ様でした。なお、今後理事はお引き受けいただいております。

3 名の基準職員数で 4 名の職員を採用しており、施設長分の予算がなく後任が見つかりませんでした。暫定ではありますが、事務局長の石田稔が施設長を兼務することになりました。



前施設長は相談員の有資格者で、ろうあ者と親の会の竹内誠治理事も退任され、現在相談員不在の状況となっており、当センターでは資格取得が急務です。

字幕入りビデオ制作・貸出し、要約筆記者養成担当、HP・IT 担当も事務局長職と兼務せざるを得ませんが、精一杯頑張っております。

また、県市町から手話・要約筆記者養成の委託も 22 講座と増え、平成 30 年の全国障害者スポーツ大会に向け、今年度から情報支援ボランティア養成事業も追加委託となりました。

眞家施設長在任中にも増して、ご指導ご助言をいただきますよう、今後共何卒よろしくお願い申し上げます。

編集後記

全聴情協総会・大会の帰路、新山口駅で列車を待っていると、偶然ドクターイエローが向かいのホームに進入してきました。

居合わせた皆は色めき立ち、一斉に携帯やスマホで撮影を始め、私も慌てて写真を撮りました。その存在は TV で見て知ってはいましたが、実物を見ることが出来るなんて、ましてや停車してくれるとは!!生涯遭遇することはないと思っていました。



ドクターイエローをご存知の方も多く、敢えて説明など不要かも知れませんが、新幹線区間において、線路のゆがみ具合や架線の状態、信号電流の状況などを検測しながら走行し、新幹線の軌道・電気設備・信号設備を検査するための事業用車両の愛称で、見ると幸せになれるという都市伝説も生まれるほど人気の高い黄色い新幹線です。幸運の前兆だと良いですね。